

めざす学校像 (チーム塔山2020)

- 1 子どもが生き生きと力いっぱい活動する学校
- 2 学びの場にふさわしい教育環境の整った学校
- 3 家庭・地域に理解され、協力を得て信頼される学校
- 4 教職員が互いに学び合い、高め合い、協働する学校

人権尊重の精神を基に、明るく健康で、知性と感性に富んだ児童を育成するために次の目標を設定し、その実現を図る。

ともに生きる子

・人 と ・社会 と ・自然 と

特別支援教室においては、発達障がいのある児童に対して、自立活動の指導を、個別指導計画に基づき、学校全体で継続的に行う。指導に当たっては、発達障がいのある児童が抱える困難さを改善し、在籍学級の中で他の児童とともに有意義な学校生活を送ることができる児童の育成を目指す。

経営の基本方針

- 1 よいところをもっとよく (個性の伸長)
- 2 豊かなふれあい (教職員と児童、児童相互)
- 3 確かな児童理解 (多様・多面的な理解)
- 4 きめ細かな指導 (個に応じた見届ける指導)

教育目標を達成するための基本方針

- 全教育活動を通して、児童の身近な環境(人・社会・自然)に対する関心を高め、環境を大切にす態度や心情を育てることで豊かな心の育成を図る。
- 生命を尊重する心や他人を思いやる心を育てるため、多様な人との交流活動や体験的な学習を積極的に going していく。教科道徳をもとに、学校の教育活動全体を通して道徳教育の充実を図り児童の道徳性を高めていく。
- 2学期制の特性を生かしながら、授業時間を確保するとともに個に応じたきめ細やかで段階的な指導を行う。また、家庭との連携を通して家庭学習を充実させることで基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っていく。
- 児童が学ぶ喜びを実感できる指導法や少人数指導などの授業形態を各教科で工夫・改善することを通して、深く考える力、豊かに感じる力およびコミュニケーションの意欲や技能を高める。授業時における言語活動を充実させることで思考力・判断力・表現力を伸ばす。
- 体育科の授業や体育的活動の中で運動の楽しさを味わわせることを通して、日常的に運動に取り組む態度を育て、体力の向上を図る。また、食育指導・保健指導も重視していく中で、児童の健康と体力の増進を図る。
- 児童の発達段階や保・幼・小・中学校との接続を見通して、習得・活用・探究を重視した系統性のある年間指導計画を立案し、実践していく。中でも、小中連携教育においては、新たに中野東中学校との連携を基に、更に創意工夫した取組を推進していく。
- 特別支援教育を推進するために、全児童の支援レベルを全職員で共有し個に応じた支援を行う。巡回指導教員・特別支援教室専門員等により、低学年を中心にMIM等の謝査査を行い「読み・書き」の実態を把握し初期段階からつまづきを是正する。
- 家庭・地域社会・関係諸機関との連携をいっそう深め、地域に開かれた特色ある学校づくりを進めるために、地域に情報を発信し、外部評価を活かした教育活動を推進する。

○ 指導の重点 (人権・道徳教育を全ての教育活動の基盤とする)

◎ 健康・勤勉で礼儀正しい子の育成に努める

学習指導

- 在校時間の80%は授業時間であることを自覚し
- 1 学ぶ楽しさを実感させる授業
- 2 学習が分からない子0を目指す
- ・基礎・基本の定着・家庭学習の充実
- 3 課題解決型の学習過程の構成
- 4 めあてを明確にした授業の展開
- 5 個に応じた指導の充実
 - ・1、2年算数 少人数指導(講師による)
 - ・3~6年算数 少人数指導(加配教員)
 - ・5、6年理科TT指導
 - ・夏季休業中の補習(各学年5日間)
 - ・塔山タイムの活用
 - ・任期付短時間教員を活用した補充教室の充実
- 6 SASUKE・マラソ・縄跳び等の体力の向上
- 7 道徳を通した心の教育の充実
- 8 地域人材・自然・施設を活用した体験的な学習の充実
- 9 A L Tを活用した外国語・外国語活動
 - 3・4年…35時間 5・6年…70時間
- 10 P C等の機器活用、I C T教育の充実

生活指導・進路指導

- 相手を認め思いやる気持ちを大切にすることを指導の根本とする
- 1 基本的な生活習慣の定着を図るため個に応じた見届ける指導の徹底
- 2 朝の健康観察の重視、健康状態の把握、欠席児童の確認・連絡の徹底
- 3 いじめ、不登校、問題行動、人権侵害等への迅速な対応
- 4 差別・偏見の根絶、互いの違いや異なり・よさを認め合う人権教育
- 5 スクールカウンセリング機能の充実
- 6 巡回指導教員との連携により、配慮を要する児童に対する特別な教育支援の充実
- 7 安全・安心な学校生活を送るため危険を予知・回避する能力の伸長
- 8 S N S塔山ルールをもとに情報倫理に基づいたI C Tの活用
- 9 塔山ルール(学習・生活)の徹底

特色ある教育活動

- 「学び合い」「かわり合い」「自然愛」の「3つのあい」をキーワードとし、豊かな人間性を養う
- 1 話し合い、伝え合い、考え合いなどの学び合いを意図的に授業に取り入れ、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成
- 2 わかる喜び、できる喜び、感じ・考え・表現する喜びを実感させるため、研究による授業改善、少人数指導、朝学習(塔山タイム)、放課後・長期休業中の補習の充実、体験活動・読書活動の実施
- 3 自然を愛する心の育成のために芝生、栽培園、ピットへの活用を高年齢団体とともに実施
- 4 なかよし班(縦割り班)による地域清掃、高齢者施設との交流学習
- 5 自主性、責任感、思いやりの心の育成のために、なかよしタイム、子ども祭り、全校遠足、地域清掃活動、委員会活動の異学年交流、保・幼・高齢者との交流
- 6 中野東中学校区五校・ひがしなかの幼稚園との保幼小中連携教育の推進

特別支援教育

- 共生社会を目指して、個々の児童のニーズに合った教育支援を行う
- 1 校内委員会の充実
 - ・校長・副校長・コーディネーター・S C・心の教室相談員・養護教諭・担任等
- 2 特別な支援を必要とする児童の把握・理解・指導
- 3 巡回相談の実施
- 4 教育センター就学相談、子ども家庭支援センター、アポロ園、幼稚園、保育園、中学校等関係機関との連携
- 5 担任による児童の状況把握と生活活指導学会での情報共有
- 6 個別支援計画・評価の改善
- 7 巡回指導教員(きりりルーム)による障がい理解教育の充実
- 8 特別支援教室を活用した指導の充実
 - 巡回指導教員と特別支援教室専門員の専門性を活かした指導